

## 第2回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会会議録

会 議 名	第2回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会
日 時	令和4年9月21日（水）午後2時～4時13分
場 所	西宮中学校 2階多目的室
出 席 者	懇談会委員19名（欠席9名）
傍 聴 者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前回の主な意見及びアンケートでの意見等について</li> <li>2 改築基本方針（たたき台）について</li> <li>3 配置計画のスタディについて</li> <li>4 学校・図書館の複合化事例について</li> <li>5 改築ニュースの発行について</li> </ol>
資 料	<p>資料1 第1回懇談会での主な意見等について</p> <p>資料2 アンケートでの主な意見等について</p> <p>資料3 改築基本方針（たたき台）</p> <p>資料4 敷地計画等について</p> <p>資料5 配置計画スタディ</p> <p>資料6 改築ニュース第1号（案）</p> <p>参考資料1 改築基本方針（富士見丘小学校・中学校）</p> <p>参考資料2 学校・図書館の複合化事例</p>

進行役	<p>皆さん、こんにちは。ただいまから、第2回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催したいと思います。</p> <p>本日はお忙しい中、本懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。私は、本校校長の宮崎と申します。前回に引き続き司会をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の懇談会でございますが2時間程度、午後4時ぐらいまでを予定しておりますので、進行についてご協力をお願いいたします。</p> <p>本日は、連絡を受けている方としましては4名の委員からご欠席との連絡を受けております。</p> <p>それでは、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは事務局から、配付資料の説明させていただきます。学校整備課、教育施設計画推進担当係長の安川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

	<p>いたします。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>次第に入る前に、前回は第1回ということで、ご出席された委員から自己紹介を頂きましたが、前回ご欠席された委員が本日いらっしゃっておりますので、一言ずつ自己紹介を頂けたら幸いです。</p> <p>(委員自己紹介)</p>
進行役	<p>それでは、次第に従って進めさせていただきます。</p> <p>次第1「前回の主な意見及びアンケートでの意見等について」ということで、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料1を御覧ください。前回ご欠席の方もいらっしゃいましたので、少し丁寧に振り返りたいと思います。</p> <p>こちらは、第1回懇談会での主な意見等を事務局でまとめたものになります。</p> <p>まず学校施設についてですが、上から2～4番目ぐらいが共通した意見だと思いますが、現在も西宮中の校庭が狭い、150mトラックが確保できる校庭が必要だろうというご意見。</p> <p>それから、以前建てた建物のときから建築基準法などの法規制が厳しくなっているので、学校と図書館が複合化して建つのか大変心配です。複合化ありきの前に、そこが学校環境として成り立つのか検証が必要ではないかというご意見を頂きました。</p> <p>それから、5番目、新校舎になると生徒数も増える場合がかなりあること。将来的には35人学級あるいは30人学級も見据えられる中、そうした社会情勢の変化に困らないような施設づくりが必要だろうというご意見を頂きました。</p> <p>続いて諸室に関するところですが、学年単位で集まれる大きなスペース、一方で少人数授業や不登校児にも対応した小規模の部屋など、多様な授業形態にも対応できる施設が必要というご意見を頂きました。</p> <p>地下の利用については、敷地が狭いので地下利用も積極的に検討すべきというご意見、地下を利用する場合でも、今までの事例だと意外と困ったこともあったので、その辺りを注意すべきではないかというご意見を頂きました。</p> <p>プールについては、西宮中だけではなく区として今後学校にプールを設ける、設けないということも含めて検討対象になっているとご説明しましたが、プールを使えるのは1年のうちの短い期間なので、それによって校庭面積が狭くなることがあれば、なくすことも1つの選択肢では</p>

ないかというご意見。

一方で、プールは消防水利としての活用のほか、屋内プールで温水プールとして地域利用もできるのであれば、そういったことが望ましいのではないかというご意見を頂きました。

次に、学校図書館も含めた図書館関係のご意見をまとめています。

宮前図書館は、現在本の貸し借りだけではなく、多様な世代に向けた様々なイベントをかなり積極的にやっておられるということで、そうした機能を継承した施設としてほしいというご意見。

学校の教室と学校施設と図書館との共有という説明についてですが、どのようにするのかイメージできない。今後の施設の見学や事例の研究などで、そういったところを見ていきたいというご意見。

地域図書館と複合化するにしても、学校図書館は残すべきではないかというご意見も頂きました。

地域図書館を生徒たちが使えるようにするにしても、セキュリティ面の配慮が難しいのではないかというご意見も頂いています。

合築して両方で使う場合は運用面が非常に重要ではないか。お互い遠慮せずに使うということが運用面では特に必要ではないかというご意見。

現在の西宮中では、学校図書館を授業で非常に積極的に活用しているということで、そういうことに一層貢献できる施設として改築できればいいのではないかというご意見。

最後に、共通したその他の意見ですが防災面、震災救援所の運用に合わせて臨機応変に対応できるようにしてほしい。

中学校3年間で3年間が工事期間に重なる生徒への配慮、負担の軽減にも取り組んでほしいというご意見がございました。

続きまして資料2を御覧ください。

前回ご欠席の方も含めて、改築に向けてどのようなことが望ましいかを含めたアンケートを取りました。こちらは、先ほどの懇談会で出た以外の意見をかいつまんでご紹介します。

「ご感想シート」で、4番目、学校は住宅街にあるので高層にもできないということで、その辺りの法規制的なところもしっかり確認したいということと思います。

その次、公共図書館と学校図書館それぞれの独立した部分を保証しながら、共有可能な部分があるかどうかを探るべきであろう。

「セキュリティ」を確保しながら、「フレキシブル」に使うことがポ

イントと感じました。

その次、新しい学びのための環境、対話の場を確保しつつ、同時にスリム化についても同時に考えていく必要があるでしょうというご意見を頂いています。

2 ページ目、「改築基本方針作成のためのアンケート」の（1）として、現在の西宮中学校・宮前図書館のよさ、あるいは特徴について教えてくださいということで、まず中学校に関するのですが、敷地面積が狭いというご意見と、一方でテニスコートやゴールがあって校庭が広いという意見の方もいらっしゃいました。

全体として言えることは、落ち着いた住宅街にあって地域に溶け込んでいる施設ということと、ボランティアや地域との交流がしっかり息づいているというところが言われていると思います。

宮前図書館に関することでは、高二小や西宮中が近くにあって、学生の利用が非常に多い図書館ではないかとのお答えを頂いています。

3 ページ、アンケートの最後に「今回の改築に期待することを教えてください」というアンケートを取っています。

西宮中学校に関することとして、まず震災救援所の関係で複数のパーテーション機能の設置ということで、コロナ対応なども想定してのようですが、そういったものがあつたほうがいいのではないかと。

校舎内の防災倉庫の設置ということで、現在西宮中の防災機能が各所に分散していると聞いていますので、それらを集約して、使い勝手のいいものになればいいのではないかとご意見を頂いています。

それから、震災時の常設型仮設トイレの設置のご意見を頂きました。

学校に関することの下から2つ目、地下に書庫や学校施設を造るなどして、校庭の広さを確保してほしい。テニスコートなどを独立させた上で、150mトラックを取れるようにしてほしいというご意見を頂いています。

宮前図書館に関することとしては、3番目で、中学校の生徒を含めて地域住民が使いやすい図書館を期待したいというご意見を頂いています。

最後に「共通」のところは下から3つ目、今回複合化ありきではなく、他の選択肢を含めて検討をお願いしたいというご意見。

その下、狭い敷地の中に学校と図書館を入れ込むことは困難。その中で、ある程度の校庭、体育施設を確保した上で、将来を見据えた理想的な建物ができることを期待したい。そういったところで、具体的な案な

	<p>ども示してほしいとのご意見を頂いています。</p> <p>資料1と2の説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>次第の内容ごとに、これからご意見やご質問を受けたいと思います。まずアンケート等の説明に対して、ご意見やご質問をお願いしたいと思います。</p> <p>ここに20人ぐらいの方がいらっしゃって、全ての方にトータル3分間お話しされると、それだけで60分になってしまいます。もちろんご意見・ご質問はどんどんされて結構ですが、なるべく要点を絞って、結論を言っていただくとありがたいです。前回もちょっとだけ延びてしまいましたので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ここでご意見・ご質問はございますか。</p>
委員	<p>アンケートについて集計ありがとうございました。8月9日に会議があって、19日までの締切でしたが、私が遅く出してしまったので、ここに載っていないのは当然のことだと思っておりますが、事務局に意見は届いていますか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>届いたものは、遅れて届いたものも含めて入れたつもりです。</p>
委員	<p>9月3日ぐらいに。でも、いいです。会議でまた言えると思うので。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>もしこの中に入っていないということであれば、口頭でおっしゃっていただければ、皆さんで共有できると思います。</p>
委員	<p>9月2日にメールを事務局にしております。</p> <p>宮前図書館のよさは駐輪場が十分にあることです。ソフト面においては、今年50周年を迎える宮前図書館で、多くの区民から祝辞などコメントが届いていて、皆さんにも読んでいただきたいということです。</p> <p>改築に期待することとしては、音の問題を一番心配しています。学校はエネルギーギッシュなところなので、静かな環境を望む方が多い図書館と合うのだろうかと思っています。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ほかにごございますか。取りあえず、先に進んでよろしいですか。</p> <p>それでは、続きまして次第2「改築基本方針（たたき台）について」。事務局からご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料3を御覧ください。</p> <p>何のために改築基本方針をつくるかと申しますと、今年度は基本計画という形で整理して、来年度以降具体的な設計に入りますが、それに当たって設計の与条件というか、学校や図書館をどういった学校や、どう</p>

いった図書館を目指して、あるいは相互にどういう関係で、相互利用していくのかという考え方をまとめるということで、これを基に具体的な設計を行っていただくためのものです。

今回の資料3の改築基本方針はたたき台ですので、まだ図書館や学校の具体的な事例や見学などもできておりません。その意味では、中間的なたたき台と考えております。今後さらにご意見を踏まえて、また充実していければと思っています。

今まで第1回の意見、あるいはアンケートで出た意見などを踏まえて、事務局で簡単にまとめました。

学校関係としての取組は現段階で6つ、先ほど出た少人数のスペースや学年単位の多様なスペースが必要だろうということ、今後の時代のニーズにも対応したフレキシブルな施設計画が必要だろうということ、再三言われていますが校庭環境、特に文武両道という校風の紹介が前回ございました。それを支える十分な校庭環境をしっかりと確保しましょう。

学校図書館については、授業でも使っている施設としているところから、そういったものを整備していく。

P T Aや学校支援本部の方々に支えられている学校でもありますので、そういった活動にも配慮した施設計画。

それから、地域コミュニティの拠点として開かれた学校ということも挙げています。

図書館については、先ほどありましたように幅広い区民が気軽に使えて利用しやすい施設計画ということで、中学校と複合化するにしても、そのほかの方々が利用しにくいということになってはいけませんので、全ての方が利用しやすい施設にしたい。

取組8「中学校との連携・協働が生まれる施設計画」をしましょう。

最後に共通・相互利用に関するのですが、「落ち着いた住宅街における学校図書館としてふさわしい周辺環境と調和した施設づくり」「使いやすく運用面にも配慮した防災機能の整備・充実」、最後に「複合化を生かした効率的な施設づくり」ということで、簡単ですが、まとめています。

参考資料として改築基本方針のサンプルということで、4～5年前ですか、お隣の富士見丘小学校・中学校の一体的整備のときにまとめた基本方針をつけています。

今回も、今後の議論を踏まえ充実させて、体系化した上で設計につな

	<p>げていければと思っていますので、本日こういった視点も必要ではないかとの指摘があれば、ぜひご意見として頂きたいと思います。</p> <p>資料の説明は以上です。</p>
進行役	<p>事前に配られた資料ではありますが、ぱっと見て意見も言いにくいと思いますが、もしできればここでご意見・ご質問を頂けるとありがたいのですが、いかがですか。</p>
委員	<p>「改築基本方針（たたき台）」ということですが、前回、西宮中と宮前図書館のいいところが出たと思いますが、これを見ると私は図書館関係だけで見ていくと、宮前図書館のいいところを生かしたたたき台ではなく、一般的図書館の改築におけるたたき台のように思えてならない。</p> <p>ですからここに宮前図書館関係、西宮中学校関係などを入れていただかないと、特色もなくてたたき台としては寂しいと思います。</p>
委員	<p>前は学校のことばかり話して反省していますが、図書館についても少しは一緒に考えなければいけないと思いました。というのは、この間も説明がありましたが、宮前図書館は杉並区の地域館では一番面積も広く、利用者もとても多いとのことなので、図書館をどうするかということも真剣に考えて、図書館と学校がいかに協力できるか、私たち学校運営協議会委員も考えなければいけないと思いました。</p> <p>杉並区立図書館サービス基本方針というのが杉並区にあることを調べて分かりましたが、それができたのは平成25年3月、そのとき10年を見通して、地域の図書館をどうするかが示されています。基本的な考え方は10年後の今も大きく変わらないと思いながら読みましたが、10年後の令和5年で1つの区切りになります。この辺の検討を区で進めているのか。</p> <p>それから、これからの図書館は、今蔵書を大分整理されているみたいですが、一定程度の蔵書の確保と、多くの人たちに来てもらうこと。特に若い人が来ないので、図書館を利用するのは私たちみたいな年代が多くなると思いますが、その辺も含めてどんな図書館にするかも考えなければいけないと思いましたので、基本的な区の図書館の方針等を協議会で検討されているか、分かれば教えてください。</p>
中央図書館館長	<p>図書館サービス基本方針はご指摘のとおり平成25年3月につくりまして、本年度が最終年度です。現在、区政モニターや図書館職員のアンケート、図書館を利用している方からの意見、区の附属機関である図書館協議会等からの意見をもらって、来年度に向けて新しいサービス基本方針の改定作業に取り組んでいる最中でございます。来年4月には新し</p>

	<p>いサービス基本方針ができると思います。</p> <p>宮前図書館の考え方ですが、基本的には地域図書館なので、今の地域図書館の機能を継続する形で、新たに複合化する中で、新たなサービスができればと思っています。</p> <p>ただ、課題で言われたとおり図書館の利用者は小学生のときは多いのです。でも、中・高になると少なくなる。ただし、前回もお話ししたと思いますが、区内に地域館が12館ありますが、高井戸図書館は中学生の利用が一番多いのです。というのは、多分高井戸中学校と併設している関係ではないかと思っています。</p> <p>宮前図書館も中学校と併設することにより、若い中学生の利用が増えることを期待しています。</p>
進行役	<p>今、図書館関係で2つのご意見・ご質問を頂きましたが、学校関係でのご意見・ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>資料3の取組1「少人数や個別学習、学年単位」について。今、いろいろな学校に行っていますが、子どもが特別支援学級の子も、大変個別指導に迫られるということで、多様な学習形態に合った部屋は絶対に必要です。今は小部屋みたいなところを流用しているので、これは取組1の、最重要の、学年集会とか、それかなという感想を持っています。</p> <p>そして質問です。取組6ですが「地域コミュニティ」。松庵地区には区の施設、集会するところは西松会館、大正時代にできた建物を私どもが土地代を払って使っているのが現状です。その意味で、開かれたコミュニティの拠点となるという、どのようなイメージを描いていらっしゃるでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>1つは、先ほどの集会施設ということで言いますと、学校に造る会議室の中で開放も前提にした、地域の方にも開放して使えるようなところを造ることが1つかなと思います。</p>
委員	<p>その程度ですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それから当然のことですが、今様々な特別教室とか、今後学校については、子どもたちも将来的に数が減るかもしれない。そういう中で地域の方にも使っていただくような、動線をしっかり分けて特別教室を開放しやすい施設にすることも含め、考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>前回欠席だったので追いつくのに必死ですが、西宮中学校図書館の件です。西宮中学校図書館がああいう状態になるちょうどそのときを目の当たりにして、当時の校長が、学校図書館が外から何も見えない状況だったのを、あれでは図書館の機能を果たせないということで、全部外か</p>



	<p>ら見える扉にしようということでそこにお金をかけて棚を造り、外から見える図書館造りをして、すばらしい司書呼んで、そこが場になり、外国人で日本語が分からないお子様の居場所になったりしながら、『学校図書室』とは呼ばない、『学校図書館』と言います」ということで、西宮中学校の図書館という位置づけを明確にされてきたのです。</p> <p>そこには、学校の先生たちが自分で持ってきた何々先生の何々文庫コーナーや、雑誌が買えない分は先生たちがプロレス雑誌を持ってきてくださったりとか、山登りや料理の漫画を持ってきてくださったりと、西宮中学校の学校図書館の役割は非常に大きく、それは今も受け継がれているものと思います。</p> <p>先ほど、学校の中の図書館も必要だから造るという感覚だったのですが、西宮中学校にとって図書館はとても重要なものだと思うので、そこに関しては、そこにも造るという感覚ではなくきちんとした視点で、学校の、子どもたちの図書館についても視点を置いていただければと思います。</p>
進行役	<p>要望でよろしいですか。</p> <p>例えば学校支援本部のことも書かれていますが、他の委員の方、特にないですか。</p>
委員	<p>今いろいろとお話を伺いまして、多機能の、いろいろと欲張ったものを1つの器に入れるのは、すごく難なことだと思いました。</p> <p>学校サイドから見たら、個別指導のできる部屋は幾つあっても足りない状況で、当然地域に開かれた学校であるべきなので、地域の方たちが入りやすい学校も必要で、他の委員の方がおっしゃったように西宮中学校の図書館はとても充実していて、授業で活用しているときに、あそこが西宮中の生徒の図書館だから、西宮中の生徒が中心で思う存分自由に使っている状況がありますが、その満足している部分を新しい施設でどのようによくしていくのか、聞けば聞くほどイメージが、何が理想なのかますます分からなくなってしまふ次第です。</p>
委員	<p>心配しすぎかもしれませんが、大阪教育大学の小学校の事件が 2001 年にあって 20 年もたったので、忘れがちなので、本当はいけません、その後中学校の先生が外部から来た、卒業生ということでありましたが、刺される事件もあって、その後杉並区の小学校も警備員を配置し、中学校の門も施錠できるようにするというので、基本的に中学校は 1 か所だけ門を開けておく状況。学校で行事があるときには、門を閉めて呼び出してもらって開ける処置を取っています。そういうことと、図書</p>

	<p>館に自由に来る人たちとの関係をどう考えればいいのかとっています。</p> <p>いい地域はいい学校をつくる。いい学校はいい地域をつくると、前の教育長は言っていました。この地域はそう大きな心配はないと思いますが、突然そういうこともあるし、2年くらい前に町田でも小学生の事件があって、そういうことも学校は考えなければならないということで、具体的な考えはありませんが、何かいい方法を考えているのかと思ひまして、もしあれば、教えていただければと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>セキュリティについては、今回図書館を利用する一般の方も入られると思いますので、高井戸中学校のように動線を分けて、基本的には入り口を分ける。必要なときには、相互に行き来できるようにするが、ふだん両方開いているときは施錠するなどセキュリティを確保するやり方が多いと思います。その辺りは運用と、施設的な配慮を組み合わせで考えていく部分になると思います。</p> <p>後ほどご紹介しますが、様々やっている事例もありますので、その辺りを参考にしながら、今後考えていければと思っています。</p>
委員	<p>図書館関係の取組8「中学校との連携・協働が生まれる施設計画」とありますが、不登校の子どもがいて、その静かな環境を望む子どもが学校に行けなくなって、本を借りに行きたいが学校の図書館に行けず、しばらく家に閉じこもっていたが、元気になったら地域に図書館があって、そこに行けたということがあります。</p> <p>中学校に図書館があると大方の子にはいいのかもしれないが、そうでない子もいることを、ここで私は思いましたので、分かっていたきたいと思います。</p>
進行役	<p>そういうことを気にとめておいていただきたいというご要望でございます。</p> <p>私の進め方もよくないのですが、時間が過ぎてしまって、ここで一旦切りたいと思います。</p> <p>それでは、次第3「配置計画のスタディについて」。事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料4を御覧ください。前回ご質問された方がいらっしゃいましたが、現在いろいろな法規制がかかっていますので、そうしたところを簡単ではありますがご説明します。</p> <p>資料4の表面では、現在の都市計画の状況を示しています。</p> <p>水色で塗られている西宮中学校の周辺は第一種低層住居専用地域で、</p>

10mの絶対高さ制限がありますので、基本的に建物の高さを10m以下に抑える必要があります。

それから建蔽率は50%、容積率は100%ですので、建物が学校図書館を含めて入るのかを申し上げますと、敷地面積がおよそ1万70㎡なので、それと同じぐらいの、100%なので同じ床面積ぐらいが張れるということです。

それから第1種高度地区に指定されています。こちらは後ほど裏面でご説明します。

図では、都市計画道路が西宮中学校南西の角辺りをかすめるように通っています。茶色の線が2本入っていますが、幅員16mの都市計画道路がありますので、そちらにかかっている範囲には鉄筋コンクリート造等の硬い建物は建てられないので、校舎や図書館などをそこに建てることは難しい。ただ、容易に除却できる体育倉庫などはそちらにも建てることはできると思います。

裏面を見ていただくと3点ほどございまして、左上の「高度地区による北側高さの制限」。今回は第一種高度地区になりますので、図で示したところの赤く囲んだ規制が入っています。今回北側に道路があり、道路の反対側の境界線から5m立ち上げて、傾きが60%の斜線に収める必要があります。

その下は「道路からの高さ制限」で、道路斜線制限というものがございまして。こちらは道路の反対側の境界から、図の赤い点線の範囲内1.25の傾きで立ち上げた範囲内に建物を収める必要があるということで、今回の敷地では東側が4mぐらいの狭い道路になっていますので、そちらは道路ぎりぎりに建ててしまうと3～4階は建たない規制がかかってくると思います。

右側の日影規制の概要は、この図でいうと敷地の境界線から5m離れたところの外側に、冬至の日で3時間以上日影ができる建物を建ててはいけません。同じように、10m離れたところから外側で、2時間以上日影ができる建物は建てられないというのが、簡単に申し上げますと日影規制になっております。

このように様々な法規制がかかっている、具体的に建物をシミュレーションしたものが資料5になります。

こちらは前回様々なご意見を頂きましたが、図書館と複合化して入るかどうか、グラウンドの面積が狭くなってしまわないのかというところはかなりご心配いただきました。前回申し上げたとおり、第4回以降

で、設計会社なども入れて精緻なものを出してまいりたいと思いますが、今回は内部検討の段階ということで、第4回に先駆けてお示しするものになりますので、粗々の検討であることをご了解いただきたいと思います。

上段左側の図面を御覧ください。こちらは、現在の校舎の既存不適格の状況です。先ほどご説明した日影規制がオーバーしている部分があります。先ほど申し上げたように5メートル離れたところから3時間以上日影をつくってはいけませんが、濃い網かけの部分が現在オーバーしている状況です。

それから10m離れたところから2時間というラインですが、薄い斜線で引いたところは現在オーバーしているので、同じように校舎を北側に配置する場合でも是正しないといけないので、同じ建物は建てられないこととなります。したがって高さを抑えるか、もしくは校舎全体を南側に寄せて、北側に日影が落ちない形で計画する必要があります。

真ん中の上の図を御覧ください。先ほど申し上げたように10mの絶対高さ制限があるので、学校や図書館の階高を考えると2階ぐらいしか建ちません。ただ、学校は建築基準法上、用途上やむを得ない場合ということで許可を取る形で建てることができます。とはいってもビルみたいなものは建ちませんので、3階建てもしくは4階建てぐらいになると思います。

一方図書館は、用途上やむを得ないとはなりませんので10mの範囲内で、2階建て程度で計画するのが基本的な考え方です。

この組合せで学校と図書館を重層化した場合、例えば1階に図書館、2～3階に学校という形で、それでも10mは超えてしまうと思いますが、許可を受けられるかについては、一般的にはハードルが高いと考えていますので、原則的な考え方として学校部分は3階または4階で、図書館部分は学校と重層化しないで2階建てぐらいで計画するのが基本と考えています。

現在の校庭の状況が資料5の真ん中にございます。見ていただくと分かる通り、まとまった校庭面積としては現在3,500㎡ぐらい、テニスコートが900㎡ぐらいなので、合わせると4,400㎡ぐらいが運動場として使えています。ただ、ご承知のとおりテニスコートとメインの校庭は防球ネットで隔てられておりますので、一体としては使えていない状況があります。

現在考えられる配置パターンを、下段のその1からその4まで、4パ

ターンお示ししています。

この配置をするに当たっての学校や図書館の規模ですが、中学校は恐らく12学級規模が基本になると思います。そうしますと、現在区で持っている標準的な面積では7,500㎡ぐらいとなりますので、今回は多少余裕を見て7,600～7,800㎡ぐらいで書いてみたものがこの図面です。

一方の図書館は、先ほど館長からも説明がありましたが、現在1,900㎡ぐらいということで、宮前図書館はかなり大きいところですが、ここでは仮に1,900㎡ぐらいを置いてみたものということで計画してございます。ただし、図書館の規模については一定のスリム化が必要になると思っています。

これらの図を描いて分かることとして、第一に前回委員の方からご心配いただいた建物が入るかかどうかという点は、7,500㎡プラス今の1,900㎡ぐらいの図書館を仮置きしたとしても、建物は入ります。

問題はそのときの校庭の面積、これについては、今回のシミュレーションではなるべくまとまった校庭面積を取るということを基本に計画をしてみたものです。具体的には、現在テニスコートの南側に通路状の部分がありますが、そちらも学校敷地なので、改築に当たっては有効に取り込んで活用したいと考えています。

2点目として、プールは現在平置きになっていますが、こちらはプールを置く、置かないということがありますが、置く場合でも校舎なり体育館の屋上に持ってくるなりして、なるべく校庭面積を確保する必要があると思っています。

3点目は、テニスコートを現在のように防球ネットで囲んで専用テニスコートにすると、まとまった校庭面積として取りにくいので、なるべく一体化させて、グラウンドにテニスの支柱等を立てて、コート設ける形を想定して書いたものが4案です。

これらは、先ほどご説明した日影規制や車線規制等の基本的な規制はクリアしていますが、緑化の規制とか、そういった様々そのほかにも規制もあり、そういった詳細なところまではシミュレーションできていません。

また、その1やその3は割と広くグラウンドを取れています。こちらについてはスタディの中で地下を使っていたりします。そういったところで、そのほかの案とのバランス、ばらつきのある計画図になっていますので、各配置はこれで決まりではないということは、ご理解いただきたいと思っています。

	<p>いずれにしても建物が収まって、現在のまとまった校庭面積以上の校庭の確保ができそうな配置が各配置で考えられるので、仮に複合化しても教育環境の確保ができる学校として整備できるのではないかということで、我々としては複合化を視野に計画しています。</p> <p>資料5は、今回どの配置を決めるということではありませんが、前回頂いた宿題ということでお示ししています。</p> <p>長くなりましたが、説明は以上です。</p>
進行役	<p>取りあえずこれを示したとのことですが、ここまででご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>都市計画道路というのは、実際はもう予定はないのですか。もし通るとしたら校庭が大分削られるので、今後80年使っていく上で、その関係が分からないので、お願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>都市計画道路ですので、やる、やらないは言いづらいところがあるのですが、少なくとも現在優先整備路線になっているとか、何かに着手しているとか、区として優先的に取り組む路線にはなっていないものと把握していますので、当面は現況が続くことが想定されると考えています。</p>
委員	<p>建物が住宅街側になると、周りの方の日当たりや子どもたちの声への配慮や、これから近隣の方に聞くのですか。4階だと、高さも結構あります。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>先ほど申し上げたように、日照や日影の規制については法規制の範囲内でしっかりやると思います。あとはご指摘のとおり、周りが住宅地なので近隣との関係、特に今と配置が変わると、近隣の方との関係は多少出てきます。</p> <p>ほかの学校では、曇りガラスなど目隠しを設置するように求められることもありました。その辺りは、校舎の基本設計等をする中で近隣にも説明して、紛争予防に関する手続なども条例等がございますので、その中で調整協議することになると思います。</p>
委員	<p>この図を見ると、検討例その3に「S造1F」と書いてあるので、これは取り壊せることを前提とした建物ということで理解していいですか。計画道路が通ると、ここの部分に道が通って、校庭部分も削られると思って見えています。</p> <p>それから、その4はぎりぎり何とかなるという設定ですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>説明が足りませんでした。その3のS造とは鉄骨造で、鉄骨造の1階建てについては容易に除却できるので、都市計画道路の範囲内でも許</p>

	<p>可を取って造ることができます。先ほども申し上げたように倉庫など、あるいは給食室はここがいいかどうかというのは、またあるかもしれませんが、そういったものも可能は可能です。</p> <p>ただ当然、都市計画道路が事業化されるときには、また別のところに移す必要があります。</p> <p>その4は、ご指摘のとおり都市計画道路を避けて配置した例とご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>2点質問したいのですが、資料5はあくまでも可能性で書いていると思いますが、地下や半地下は考えていらっしゃるのか。それによって、高さ的にも緩和されるのではということもあると思います。例えば、大宮前体育館は半地下のようになっています。</p> <p>それともう1点、さっき学校の面積は7,500㎡との話でしたが、ざっくりで来ていると思いますが、現実的にこれから教室が多様化になってときにその基準で賄えるのかどうか。個別の教室や特別教室、多目的だとか、いろいろな教室が出てくるとは思います、その辺のことも再度、基準どおりにいくのかを考えていただければと思います。</p>
進行役	要望でよろしいですか。
委員	地下や半地下についてはいかがでしょうか。
進行役	半地下と地下化、先ほどちょっとおっしゃっていましたが。
教育施設計画 推進担当係長	<p>地下については、今回のスタディではその1とその3、その4は図書館部分で、機械室や書庫とかそういったものは地下でもできるのではないかとといったところはスタディの中に入れているところと、そのほかの案では入れていないところがございます。</p> <p>2点目の中学校の規模は、ご指摘のとおり様々な使い方をしていく中で、教室の過不足等がないようにしっかりやっていくということになりますので、今後の生徒数の推計を含めて改築規模、どういった部屋をどれくらい整備するかという考え方等は、第4回ぐらいにお示ししたいと思います。</p>
委員	<p>資料5で校舎が敷地内に入ることが分かりましたが、校舎がぎりぎり入っている状態で図書館とか、あとたたき台にある「地域コミュニティの拠点となる開かれた学校づくり」「文武両道の校風を支える十分な校庭環境の確保」ができるかということ。</p> <p>あと、最初に高井戸中学校が図書館と一体化したことによって、高井戸中の生徒が図書館に通う機会が多くなったとのことですが、西宮中の敷地面積は1万㎡ぐらい、高井戸中の場合はたしか1万5,000㎡ぐらい</p>

	<p>あったと思いますが、それくらいの敷地の差も考えた結果なのかを伺いたいと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>「地域に開かれた学校づくり」は先ほどもご説明しましたが、そのほかにも今回、図書館と複合化ということになれば、単独の図書館では確保できないような部屋も学校を借りて催し物をするとか、そういったことも相互利用の中で様々な可能性が考えられるところも含めて、先ほどの基本方針に入れていきます。</p> <p>高井戸中の敷地面積はたしか1万3,000ぐらいだったと思いますが、今回の西宮中の複合化については資料5でも説明したとおり校舎を配置して、その中で少なくとも現在のまとまった校庭面積以上を取れる案が複数考えられるだろうということを視野に検討して、計画しています。</p> <p>繰り返しになりますが、この図の校庭面積は、図書館の規模もこれから精査していくことになると思いますし、配置なども先ほどあった地下の利用なども含めて様々な可能性があると思いますので、この校庭面積で決まりと捉えてほしくないところも正直ございますので、その辺りは次々回ぐらいに、もう少し精緻なものをお示ししていければと考えています。</p>
委員	<p>前回8月9日の第1回懇談会の内容を、PTAの保護者会の皆さんにフィードバックしました。そうしましたら、私にEメールで改築の間の校庭の使用についての質問が来ました。</p> <p>この方は、6年生と4年生の息子さんがおられるようですが、松庵小の野球部では中学でも野球を続けたいと希望している子が多く、そのほとんどが西宮中に進学します。改築中でも校庭で野球部の部活ができるのか、皆気になっています。使用できないのであれば、学校の部活ではなくクラブチームを選ぶ選択肢もあり、その場合、今6年生の子どもたちは、そろそろ各クラブチームの見学や体験をしに行かないといけない時期ですので、中学で部活ができるのかどうかについては、今後を決めるためにとても大事な要件となります、という話です。</p> <p>特にこの3年ぐらい、コロナの関係でいろいろ制限を受けているので、中学校に進学してからまた制限を受けるのは、子どもたちが非常にかわいそうだと思っている保護者が多いらしく、場合によっては中学受験などもあるので、進学先を含めて、今後を決めるために大事なことなので、教えていただきたいというものでした。</p>
教育施設計画	<p>改築のスケジュールは建て方によってかなり変わりますが、標準的に</p>



<p>推進担当係長</p>	<p>仮設校舎などを含めてやりくりするとなると、新校舎の開校は10年度ぐらいになると思っています。</p> <p>したがって、来年入って来る子は5～7年度の3か年ぐらいだと思いますので、当然令和10年度にかかってくる子が入学する段階では、就学通知の形で新入生の保護者には改築の計画があり、その間こういう制約が出るかもしれないと周知した上で、就学の調整をしていただくこととなりますので、現在はまだ配置等が決まっていないのでどうなるかは申し上げられませんが、基本的には現位置で改築することになると、改築期間中の運動場はかなり制約がかかると思います。</p> <p>それも資料5でお示しした配置計画によってどういう仮設校舎が必要になるか、建て替えの順序、工期がどうなるかが決まりますので、設計で決まり次第、保護者に就学通知でお示しして、後で入ってから使えなくなったということがないようにしたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では当然そうなると思いますが、この間話に出ていた、代わりに使えるグラウンドなどの場所を、ほかの区ではあっせんされることがありますが、それはやっていただけると考えてよろしいですか。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>大切な話なので、部長の中村からご説明します。</p> <p>資料5とか様々出しまして、将来の西宮中あるいは宮前図書館の在りようについてこうやって議論していますが、本当に大切なのは、この工事にジャストミートする子どもたちのことです。</p> <p>それはただ単に校庭のことだけではなく、重機が入って音がするだとか、そういった環境の中で、しかも中学の場合は3年しかありませんから、小学校のように入ったときは仮設でも、5年生、6年生になれば新校舎の1号だとは言えないわけです。</p> <p>今校長先生が言ったように、どうしても校庭は、どの案でいっても多分アウトだと思います。</p> <p>であるならば、当然近隣の中学校やあるいは体育施設、そういったところを我々としても、もちろん用意しなければいけない。できる限り3年間に支障のないように、それでも支障はありますが、その支障を最小限にする努力をしなければいけないと肝に銘じています。</p>
<p>進行役</p>	<p>今の段階ではそのぐらいということですね。</p>
<p>委員</p>	<p>これは単に容積率をこれだけ計算できるという図だと思いますが、「検討例(その1)」とかになると窓のない部屋ができるみたいな感じ。これは容積率の計算で、このようになっているという感じですよ。学校には教室があつて、廊下があつて、窓があるという感じですが。</p>

<p>学校整備担当 課長</p>	<p>学校の教室や特別教室、図書館などの諸室は、外部に対して窓をつけなければ駄目なのです。まるきり閉ざされたところではできる部屋は倉庫やトイレなどの諸室で、法律上学校の教室や特別教室など、子どもたちが常時学習などで使う居室は採光が必要なのでその点は心配ありませんが、4つの中で一番固まりのように見えるところは、そういう部屋がしやすいです。</p>
<p>委員</p>	<p>今回示していただいたのは、前回の質問に対してお答えいただいて、確かに狭い西宮中の敷地の中で、設計図の上ではできるのが分かりました。</p> <p>ただ、先ほど他の委員の方からも話がありました図書館利用の一番は静かな中で読書するというもので、片や中学校は活気があふれ、声を大きく出して活動するものです。それぞれ目的とするものが異なる環境がこうして隣同士になったとき、校庭の横に図書館があって、体育で子どもたちが元気に走っている声をどう遮断できるのかという心配があります。</p> <p>先ほど近隣の話も出ましたが、私も過去にPTAをしてきて、近隣の苦情に対する対応は相当しております。何かがあるたび1件ずつ回って、うるさくなりますということをお断りし、場合によっては体育館の暑い中で道路側の窓を開けずに、子どもたちの声が出ない、暑いのを我慢させて近隣の苦情を抑えるための活動もずっとしてきました。</p> <p>地域として静けさを求めているのは、ある意味教養豊かという考え方もできますが、学校からすると活気あふれる活動が学力をより向上させ、文武両道をうたう西宮中なので、その辺りの求め方と、図書館の基本的なすり合わせを、理想としてできれば本当にいいのかなと。だから宮前図書館は、西宮の生徒の日々の生活の音が妨げにならない建て方を考える必要がある。</p> <p>あと単純に右に図書館、左に学校ではない考え方もできるのかなと、それぞれがいい学校で、いい図書館です。そこをなくしてまで複合施設は必要なのか。</p> <p>先ほど図書館長がおっしゃった相互利用が可能ということについて、実際、宮前図書館が土日を含めて西宮中学校を使いたいと言ったら、土日ほとんど使いたいと思います。空いているのは教室だけで、それ以外は多目的室も使っていて、部活動も盛んなので、校庭も土曜日、日曜日は全部使っています。</p> <p>そういう部分でいうと、本当に図書館が隣にあって、開いているとき</p>

	<p>に中学校を利用することは可能かと言えば、私は日々中学校を見ていますので、開いているところはどこにもない。いつも場所取りをするので、学校内だけでも大変です。</p> <p>そこが活発でない中学校と言うと申し訳ありませんが、いろいろな意味で充実した学校のものがあるので、そこに図書館が利用できるのかということと、西宮中学校の図書室は先ほども話が出ましたが、図書館司書の先生が充実させて、西宮生にとって充実した図書館ということで、本選びもしてくださっています。それぞれが自分たちの特色を考えた上で、特化した活動ができています。その辺りのよさを消さないで、新しい建物を建てることを考えるのは決して簡単ではないと思います。</p> <p>中学校が建て直しをしようと言ったときにいろいろと望むところはあって、個室やピロティのような場所が欲しい、特別室を充実させて授業できる施設にしたいというのもあり、きっと図書館も充実した活用を、いろいろ言ってしまうときりがありますが、最低でも優先順位を取って、複合することでどのようなメリットが私たちに感じ取れるのかいまいち明確にされていないので、先ほどから話を伺って、一緒にさせられるならそうしたいと思うが、互いにどういういいところがあるのだろうという疑問が増えるのも事実です。</p> <p>その辺りも十分検討した上で、建物を考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>特に後段の部分、資料5で数値的に入ることは分かったけれども、今までの西宮中のよさ、宮前図書館のよさがかき消されるようではしょうがない。何のための複合化だと思うのは当然です。その辺が生きるように設計しなければいけないということが第一段階。具体的に言えば、子どもの声が図書館に響く。それは構造上、やり方はいろいろあると思います。</p> <p>今の西宮中は土日もいろいろな場所を使っているというあたりも、どういうこしらえ方、動線の仕方にして、ある程度図書館の土日の活動に西宮中のエリアが使えるようにしていくのかも当然考えなければいけないと思っています。ただ、それは第1段階です。</p> <p>第2段階は我々の宿題として、いずれ近いうちに皆さんにお示ししなければいけないのが、最後におっしゃった相乗効果です。複合化によってプラスが生じなければいけない。</p> <p>先ほど図書館長から、高井戸中は中学生が本に触れる機会が多い、中学生が本を借りる機会がたくさんある、これが相乗効果です。でも、図</p>

	<p>書館と中学校を一緒にすることによって、もっといっぱい、いろいろあると思う。そのことをもう少し、我々図書館側と学校側、教育委員会も含めて皆さんにお示しできるといいなと。</p> <p>ぜひ、皆さんも考えてみてください。図書館と学校が一緒になれば、こういうこともできるのではないか。逆にこういう相乗効果、シナジーが生まれるような複合施設にしてほしいという提案も欲しいと思います。</p>
委員	<p>図面の面積から言うと、例えば両方の施設に駐輪場とか、とても大事なものだと思います。特に、保護者会もありますが、地域図書館にとって駐輪場はものすごく大事です。近くだからこそ行ける場所なので、もちろん複合化するに当たっては、さっきそれぞれ単独の駐輪場とか動線とかおっしゃっていましたが、駐輪場とか出口はこの面積で取れるのか、シミュレーションしましたか。</p>
学校整備担当 課長	<p>校庭がどういう規模になるか、校舎がどういう高さになるかというところを、前回の質問から主に検討資料で提示していますので、外部周りで、図書館のところで駐輪場や、学校でも来校者や給食の食材の出入りとか、外部にも細かいところがたくさんありますが、そういった細かいところを詰めていくと全体のイメージが提示できないので、そこまで検討していませんが、例えば真ん中のスタディ、その2を見れば北側に空間は十分あって、そのほかのものも道路と歩道状空地の間にはそれなりの空間があるので、駐輪場を設けられないことはないと思います。</p>
委員	<p>今の西宮では、入った右側に皆さん自転車を止めるのですが、図書館となると障害のある方が一時的に車を止めて車椅子に乗り換えるとか、図書館に入る入り口の状態は1つの大きな施設なのです。それを考えておられるのかと思いました。それはまだ考えられていないということですね。</p>
学校整備担当 課長	<p>そこまでの情報が入っていませんので。</p>
学校整備担当 部長	<p>正直に申し上げますと、まだ細かいところまで詰めきれていませんが、最初に事務局が説明した、それぞれの案に対して専門業者を決めて、細かく諸元といいますか、具体的な内容を詰めて、どこにどういったことを配置するのかを改めて決めながら、皆さんからご意見を頂きたいと思います。これでは駐輪場が少ないとか、場所をこういうふうに変えてくれとか、駐輪場だけではなく、いろいろな諸元が出てくると思っていますので、その辺をこれから次の段階で示して、議論いただければと思っています。</p>

	ます。
進行役	<p>ちなみに西宮中は、P T A活動などで学校に来るときは、今おっしゃった北側の空き地に止めていますが、コロナなどもあって大きな行事のときには自転車で来るのは認めていません。</p> <p>ただ、そのようお願いしても、自転車を近隣の駐車場や路上に置く方もいて、先ほどのお話を聞いたときに思ったのは、図書館の駐車場に中学校に来る人が止めてしまうことを危惧しました。</p> <p>こちらとしてはこれまでP T Aなどにもご協力いただいて、そういうことがないように努力してきましたが、幾ら申し上げても徹底しきれない状況がありました。先ほど図書館にとって大切な駐輪場とおっしゃっていただいたのですが、少し心配になりました。</p>
委員	<p>基本的な質問ですが、今こうやっていると色々な意見が出る中で、複合化というのは絶対にありきで、いろいろな不安材料、もちろん建て直しはそれぞれあると思いますが、複合化に関しては基本的には絶対にありきで、覆ることはないという流れで話は進んでいるのですか。</p>
学校整備担当部長	<p>区の行政計画に施設再編整備計画というものがあって、そこで西宮中と宮前図書館の改築に関しては、複合化を視野に進める。ある意味行政で視野という形で申し上げますと、それを織り込んでという形でこの間、前回それから今回も皆さんに案を提示しています。</p>
委員	<p>先ほどもセキュリティの問題や、複合化することによって双方にいいことがあるだろうということで、西宮中と宮前図書館は近いところにあつて、これまでも熱心な司書だと、双方でいろいろな計画や活動をずっとやってきました。</p> <p>同じ敷地でやってきたことがいっぱいあって、要は敷地の中や建物より、人がどういうふうに動いて関わるのかが一番大事で、これからは箱は造ったが、うまくやっていくかは人次第で、そこがうまく、建物の中の構造というところでやれるようにしていくためには、私としては複合が本当にいいのかどうか最初の基本かなと思っていますが、それは今の話合いでは、絶対に覆らないという方向で、私たちは話を進めなければいけないと受け止めてよろしいですか。</p>
学校整備担当部長	<p>同じ回答になりますが、計画上は複合化を視野に織り込んで、これからは我々は案を提案したいと思っています。どうやって皆さんと一緒に新しい施設をつくれるか、知恵を出し合って考えたいということです。</p>
進行役	<p>随分時間がオーバーしまして、よろしければ先に進みたいのですが、大丈夫ですか。</p>

	<p>それでは続きまして、今まさにお話の出ていた次第4「学校・図書館の複合化事例について」。事務局から御説明をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>参考資料2を御覧ください。学校と図書館の複合化事例ということで、事務局で調査したものをまとめました。先ほど運用面が大事というご意見も多分にございましたが、ここでは施設の・ハード的な部分に着目して、複合化のパターン分けをしました。</p> <p>1 ページに4分類を示していますが、左側に行くほど分離・独立の割合が高く、右側に行くほど融合しているということで、このグラデーションの中で、様々な事例がございます。</p> <p>一番左の「分離型」で申し上げると、同じ敷地内にあるけれども建物が分かれているとか、同じビルに入っているけれどもフロアが全く分かれているなど、ソフト面はともかく、ハード面については直接的な連携はしていないというのが、富士見市立のつるせ台小学校や、練馬区の南田中小学校、中野東中などがございます。</p> <p>Bの「隣接型」では、学校図書館と公共図書館が隣り合っていて、高井戸中のような形で、扉を開いて行き来ができる。あるいは上下でつながっているものもあります。調布市立の調和小学校などです。</p> <p>Cの「一部共用型」は、学校図書館と公共図書館が一部シェアをしている形で、例えば蔵書や書架を公共図書館側と一部シェアしたり、学校図書館にある閲覧室を土日などは図書館利用の方々にも開放したりという事例もあります。またイベントなど、多目的室等が学校で開いているときには、図書館側で土日や夜間などで使う場合もあります。</p> <p>最後のD「融合型」は、志木市立志木小学校などは、公共図書館を学校図書館としても位置づけている事例です。</p> <p>2 ページから早速事例の紹介をしたいと思います。</p> <p>「富士見市立つるせ台小学校・鶴瀬西分室」は、敷地内にありますが棟が分かれています、右側の配置図の赤いところの1階に公共図書館、学校図書館は学校の校舎棟中央部に配置されていて、離れた形になっております。</p> <p>3 ページ「練馬区立南田中小学校・南田中図書館」も航空写真の図面を見ていただくと、オレンジで囲んだところが学校敷地で、小学校は南側にありますが、間に体育館があつて、その体育館に複合化する形で、北側の赤く囲んだところに図書館がございます。</p> <p>こちら校舎、それから学校図書館と公共図書館は離れていますので、同じ敷地内にありますが、こちらの公共図書館からは南田中小学校</p>

だけではなく、近隣の小中6校に対して様々な支援をしているようです。

4ページ「中野東中学校・中野東図書館」は、上にある断面図を見ていただくと、山手通りの中野坂上のすぐ近くに昨年オープンした学校で、青いところの低層階に学校、上の7～9階にある朱色になっているところが図書館、その間に子ども・若者支援センター、教育センター等が入っていて、同じビルに入っていますが、学校図書館と地域図書館の直接的な連携は現段階ではしていないと聞いています。

続きまして5ページ「調布市立調和小学校・調和分館」ということで、こちらの配置図を見ていただくと、学校の北側の赤く囲んだところの1階に公共図書館、2階に学校図書館、学校図書館は少し面積が小さいと思いますが、その間に階段があつてメゾネットになっています。設計の段階では連携を想定して建てられたようですが、セキュリティ面への配慮から、現在階段は閉鎖していて、行き来できるようになっていないと聞いています。

6ページは区内の事例で「高井戸中学校・高井戸図書館」です。こちらは平成9年頃に建てられた学校図書館ですが、配置図を見ると北東の角辺りに図書館があつて、図書館の出入口と学校の出入口は分けられています。2階の平面図では図書館の廊下の突き当たりの奥に、写真を載せていますが扉があつて、開けると学校図書館が隣接しています。以前はあまり開けなかったと聞いていますが、現在は昼休みに扉を開けて、中学生が図書館に行けるようにしているということで、日にもよりますが、20～30人が図書館に行っていると聞いています。高井戸図書館の2階ホールの多目的室で図書館側のイベントなどを行っていますが、こちらも中学生向けのイベントなどを昼休みにやる時は、もっと多くの子どもが図書館側を利用するとも聞いています。そのほか、現在では夏休み等に学校図書館を一般に一部開放していることも聞いています。先ほど、音の問題が不安ではないかということがありましたが、我々のヒアリングでは特に大きなトラブルはなく、どこの図書館の方もおっしゃいますが利用者が割と慣れているというか、そういうこともあるようで、苦情やトラブルになることはほとんどないと聞いています。

続きまして7ページの「千代田区立昌平小学校」は、千代田区の学校なので限られた土地にビル型の学校となっており、屋上にグラウンドがある学校です。図書館は1階、188㎡の図書館ですが、そこに隣接する形で小学校の学校図書館もあります。学校図書館はそこだけではなく、

各学年ホールにも授業で使う関係の図書は分散して配置しているようです。

8 ページの「和光市立下新倉小学校・下新倉分館」は、図面の2階平面図、ホールから上がって赤く囲んだところが地域図書館で、それに隣接したところに学校図書館を設けていて、こちらはガラス張りで仕切られています。基本的には学校図書館なので、学校側で使用します。学校図書館との連携についてですが、中休みや昼休みに児童が公共図書館を利用できるようにしている。これは、曜日によって学年を定めて利用していると聞いています。それから、図書館側には講座等をする専用スペースがないので学校の会議室、この図面で言うと「多目的室」と書いているオレンジで囲んだところを学校と、土日などを年間授業計画等で日程調整して利用している。ソフト的な運用ですが、朝図書館職員が学校に行って読み聞かせなどを行っているということを、コロナ以前にはやっていたと聞いています。

9 ページ「立川市立第一小学校・柴崎図書館」の複合施設は、ほかの学習館とも複合化していて、図面が小さく恐縮ですが、赤く囲んだところが柴崎図書館、その一角に学校図書館が入り込んでいます。ここの学校図書館との仕切りについては、子どもたちが落ち着いて授業や読書ができるようにすりガラスで、気配は感じられるが見えないという形で仕切っている。間仕切りについては、ふだんは当然閉じて、学校図書館として使用していますが、土日などは開放して、一般利用者の方も閲覧室として、あるいは学校図書館の蔵書も閲覧できるように運用されていると聞いています。そのほかの学校と図書館の連携としては、柴崎図書館は10時から開館なので、その前の1～2時間目は、児童が公共図書館を利用できるようにしている。また、柴崎図書館の開館中は、セキュリティの関係上学校側と図書館側一人ずつ先生を配置できるときは、子どもたちが地域図書館も利用することもあると聞いています。

また、先ほどの学校と一緒にですが、柴崎図書館に専用のイベント・講座スペースはありませんので、小規模なものは学校図書館の閲覧スペースを使い、学習館も併設しているので、そちらのホールを使っていると聞いています。

10 ページ「北区立浮間中学校・浮間図書館」の事例です。こちらについては1階の平面図を示していますが、赤いところが地域図書館の浮間図書館で、それに隣接する形で「調べ学習室」と書いているのが学校図書館という位置づけです。こちらはガラス張りで、扉1枚で行き来でき



	<p>るようになっていますが、ふだんは当然施錠されていて学校専用の図書館として活用していますが、春休み・夏休みなどは閲覧スペースとして一般の方にも開放して、使えるようにしています。それから、学校図書館は一部の蔵書を地域図書館と共用して、学校図書館が保有している冊数プラス地域図書館で、学校図書館として利用する位置づけと聞いています。もう1つ「さくら草ルーム」という多目的ホールがあって、そちらも同じように浮間図書館のイベントがあったときは、学校施設ですが、そちらを使う場合があると聞いています。</p> <p>11 ページ「志木市立志木小学校・いろは遊学館」は、学校の特別教室を地域利用に貸している学校で、学校側にも地域の方が入ってこられる、かなりオープンな学校です。その中に図書館も併設されていて、その一角の閲覧コーナーを子どもたちの学校図書館としても使用しています。そのほか、学校図書館を補完する役割として、各学年の学年スペースに蔵書等を一部配置して、学級文庫的に使っていると聞いています。</p> <p>最後の12 ページは、複合化ではないのかもしれませんが、「磐田市立ながふじ学府」ということで、こちらは小中一貫校で、学校図書館の蔵書も2万冊規模あり、それに公共図書館の蔵書約5,000冊を足して、基本的には学校図書館ですが、地域の方も利用していただけるように開放している事例です。学校図書館と地域図書館両方の役割を持たせる図書館として利用されている事例もあるということです。</p> <p>次回の第3回は、区内の高井戸中学校と、まだ調整中ですが、区外のどこかの中学校と合わせて2か所、視察ができればということで打診していて、決まり次第第3回の日程と見学先の通知をしたいと思います。</p> <p>資料の説明は以上です。</p>
進行役	<p>複合化の事例につきまして今ご紹介がありましたが、これについてご質問等がありますか。</p> <p>先に進みます。続きまして、次第5「改築ニュースの発行について」。事務局からご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料6を御覧ください。今回このような形で懇談会を進めて、改築に向けて検討を進めていますので、学校関係や図書館関係の方々にそういった状況をお知らせするために、懇談会の状況などを含めて改築ニュースを配布したいと思います。</p> <p>お配りしたのは創刊号の案で、来月以降近隣の方々、西宮中の保護者の方々と生徒たち、今日も小学校の校長先生がいらっやっています</p>

	<p>が、学域内の小学校にも学校を通じて配布させていただきたいと思っています。それから、町会や自治会の方も今日いらっしやっていますが、そちらにも回覧をお願いしていければと思います。</p> <p>図書館の関係でも、中央図書館や宮前図書館に掲示あるいは配布をして、周知を図りたいと思っています。</p> <p>こちらのニュースは進捗状況に応じて、都度作成・配布をしてみたいと思っています。</p> <p>内容としては、前回の内容を中心に懇談会を始めていることと、今後の進め方とスケジュール、想定される改築のスケジュール等をお示ししています。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>今説明がございましたニュースについて、何かご質問等がありますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、これで本日予定していた議題は終了となりますが……。</p>
委員	<p>ニュースについて。</p> <p>私は今日4つの事例を見て、宮前図書館は今の場所で改築・複合化し、西宮中は西宮中で改築したほうが良いと本当に思っています。今まで検討して、シミュレーションしていただいたからこそ、本当に強くそう思います。</p> <p>このニュースの文章を読むと、どのように改築するかを私たちが検討しているかのように読めますが、ここに自分の名前が載っている分には、この懇談会でそういう、根本的な問題を抱えて、思っている方がいらっしやる。私もそうですが、そここのところの話をしなければいけないと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>様々なご意見があることは、議事録やニュースにも載せたいと思います。ただ、先ほども申し上げましたが、この改築計画の内容は複合化・多機能化を視野に入れた進め方で、ぜひ皆さんと考えたい。ただ、そういった中でそういった不安や懸念を含め、それをどう解消していけばいいのかということも、ぜひ議論いただきたいと思っています。</p> <p>様々な意見が出たということは、公開する議事録やニュースでも触れたいと思います。</p>
進行役	<p>本件については、今後も議論していくということでよろしいですか。</p>
学校整備担当部長	<p>いずれにしましても、西宮中と宮前図書館、先ほどから申し上げているように、複合化を前提にした議論をさせていただきたいということに変わりはありません。ただ、その懸念をどういう形で解決するのか、</p>

	<p>細かい資料も出ていませんので、先ほどそちらの方から出た相乗効果なども、これから事務局で提案しながら、議論を進めたいということです。</p>
委員	<p>ここまでいろいろな情報を頂いて、複合化はやめたほうが良いと思っている委員もいます、私ですが。例えばこの文章を読むと、それで検討を進めていると読めます。</p> <p>もしいろいろな意見があるということを出してほしいとおっしゃるなら、ニュースの2枚目にいろいろな対案もあるとか、1つの意見だけを載せるのではなく、反対意見も載せるべきだと思います。このニュースでは、私は納得できません。</p>
学校整備担当部長	<p>先ほどから申し上げているように様々な意見、複合化に関する意見も頂いていることは、当然ニュースや会議録でも皆さんにお知らせしたいと思っています。</p>
委員	<p>会議録でお知らせするというのは、ホームページですよ。載るのが遅いです。8月9日の会議の様子はまだ載っていないですよ。そして、会議録を見ると言ってもどれだけの人がホームページを開くでしょうか。関心がある人ぐらいではないでしょうか。</p> <p>地域の方にとってはこのニュースが一番なのです。それであれば私は複合化をできるか、できないかを検討していることは書いてほしいと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>今回囲みで書いたところは、前回ご説明した懇談会の所掌範囲を入れています。それから第1回の懇談会の様子を、小さいですが前回出た主な意見を今回まとめました。</p> <p>今後も引き続いて発行してまいりますので、今委員の方から頂いたような多様な意見も含めて第2号以降、どのタイミングで発行するかは検討させていただきたいと思いますが、その中で多様な意見があったことがお分かりいただける形で残していきたいと思っています。</p>
進行役	<p>要望として、ぜひよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私も他の委員の方と同じように、このニュースを拝見すると、複合化が決まっていると読めますが、図書館の跡地は利用目的が決まっているのですか。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>宮前図書館の跡地については、現段階で特に決まっておられません。第1回でもお話をしましたが、その跡地をどう活用していくかというのは、跡地活用が始まるのは、複合化を前提とすると10年後近くになりますので、将来的なニーズなどを加味しながら、今後検討します。</p> <p>ただ、その用地は区の貴重な用地でありますので、どこかに売却する</p>

	<p>とか、民間の建物を建てるということではなく、基本的には地域の皆様にご利用いただける施設ですとか、そういった活用方法を、まさに皆様のご意見を頂きながら、今後検討してまいりたいと考えています。</p>
委員	<p>でしたら、図書館のままでいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>子どもの視点から。学校の図書館に司書がない時代が長くありました。図書館に担任が連れて行って読ませるぐらいの。でも、司書が入ったことで、小学校の大事な勉強があるのですが、司書が資料をそろえてくれることで、子どもたちが調べて、自分の考えをまとめる学習に大いに役立っています。</p> <p>中学生では、西宮中に優秀な学校司書が来ていますから、恐らくそういう活動をしてくださっていると思いますが、これが公共の図書館も含めて、私は私立に行っている高校生の指導をしています。本当に自分で調べて自分の考えをまとめるには図書館はなくてはならない。その学校の図書館にいましたが、すばらしい蔵書数です。</p> <p>今回、併用でやるということのメリットを期待しています。そういう前向きな形での運用・活用も考えていく必要があるかと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>まさにその辺が相乗効果の1つ、何よりも子どもたちのためということがこの案の1つなので、今おっしゃったことも含めてより具体的に、皆さんの前で案としてお出しして、活発な議論を頂きたいと思います。</p>
済美教育センター統括指導主事	<p>この学校によく授業ですとか、見に行き、先生方の授業を拝見している機会が多いものですから、一言お話しさせていただきます。</p> <p>中学生ですので、義務教育が終わった後、上級学校、高等学校や専門学校への出口に向けて、子どもたちは勉強に励んでいます。そういった試験、そういうものも大事ですが、今、国として進めているのが、学びを変えていく。子どもたちが自分で学びたいものを選び取って、目標を立てて、計画を立てて、調べて学びを進めていく。そういうことをする中で、学校図書館として教育のある程度限られた範囲で子どもたちが調べたり探求したりということは必要だと思っています。</p> <p>一方、自分の興味に合わせてどんどん調べる範囲を広げていくことも、これからは大事にしなければいけない部分だと教育委員会としては考えているので、今回の複合化によって、子どもたちが調べたい範囲を広げて学びを進められるのは、大きいメリットがあると思うと同時に、私も中学校の国語科の教員なので、近くに公共の図書館があることの教員としてのメリットもすごく感じていますので、それも考慮していただけるとありがたいと思います。</p>

進行役	<p>この後学識経験者の方からお話を頂く時間も取りたいと思いますので、いろいろお考えはあると思いますが、要望なら要望を簡潔に言っていただいて、ご質問ならご質問を言っていただいて、学識経験者の方のお話が続けられればと思います。</p>
委員	<p>図書館があるというのは複合的な面ではすごくいいのですが、図書館がなかった場合に、もうちょっとゆとりをもって西宮中を、わくわくするような中学校にできるのではないかと感じてしまっていて、今は図書館を無理やり入れて、窮屈な感じが否めないのかなと。</p> <p>体育館とかもこれからここに入って、そういう部分でもうちょっとゆとりが欲しいと感じています。</p>
進行役	<p>要望としてお願いします。</p>
委員	<p>子どもたちの学びの向上に施設は大切なもので、箱がしっかりしていればとなりますが、それをつなぐのは箱ではなく人だと思っています。先生方、図書館のスタッフによって成り立っていくものだと思いますので、それでは複合でなくてもいいのかなという気もします。</p> <p>私が一番気になったのは、私たちに話が降りて来る段階で、何が何でも複合ということでスタートした区のほうで、国からの方針で複合化を推し進めているということがあると思うのですが、そこでなぜ、区のほうで、絶対複合というところから始まって、今ここに降りてきたのか。</p> <p>それは多分学びだけではないと思いますが、時間がなくなるかもしれませんがそこを知りたい。区でどういう話合いが行われて、複合ということになったのか。</p>
企画課施設マネジメント担当課長	<p>時間も限られていますので次回以降改めて補足などさせていただければと思いますが、そもそもの話ということで言いますと、区立施設全体を見たときに、西宮中学校だけではなく、いろいろな学校で老朽化が進んでいます。図書館もそうで、高円寺のセッションも改修していくところで、区立施設の多くが一斉に老朽化を迎えていて、建て替えをしていかななくてはいけない。</p> <p>建て替えには非常にお金もかかる一方、将来的な人口を見ると杉並区においても全国のトレンドと同じように人口は減少し、高齢化が高まってくると、今まで以上に施設に振り向けられる財源がどうしても限られるのは全国共通の課題です。</p> <p>そうした中で施設は一旦建てますと 50 年、60 年、80 年、そうした先を見据えたとき、どういうふう建物に新しくしていくのがいいのかというところを、まず区としては考えなければいけないという目線が背景</p>

	<p>にある。そうした中で複合化は1つの手法としてはあるだろう。</p> <p>ただ、財政面だけでこの話をするのではなく、当然学校ということがありますので、子どもたちの教育環境を確保できるのか、図書館の機能を果たしていけるのか、さらによりよい形ができるのか、図書館の跡地活用が地域の皆様にとってよりよい地域になるのではないかな。</p> <p>そういった複合的な観点から考えまして、西宮中と宮前図書館を改築するに当たって複合化していくことが地域全体にとってメリットになるのではないかなという議論が背景にあって、複合化を視野に検討を進めています。</p> <p>ほかの学校についても今後は複合化を考えていて、全体の方向感としてそういう背景があるのをご理解いただければと思います。</p>
進行役	<p>今日のところはよろしいですか。</p> <p>時間が過ぎておりますので、学識経験者の方の話があるので、最後、挙手をしている委員の方、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>検討懇談会が我々大人のことで、立場が違う中でお話をしていますが、自分が考えているのは、現役の中学生在がどう考えているのか。今までの検討懇談会の話で出てこなかったのが不思議ではないかな。</p> <p>自分が同じような仕事をしていて、生徒に聞きながら建て替えをやった記憶がありますので、その辺をぜひ、現役の子どもたちがどう思っているのか。実際にどういうものを希望しているのかを聞いたほうがいいのではないかと、ご意見として言っておきます。</p>
進行役	<p>そういう要望が出ましたので、ぜひご検討ください。</p> <p>時間も過ぎてしましまして、ここで一旦終わりにさせていただいて、学識経験者の方からコメントを頂きたいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>皆様のいろいろなご意見を伺い、前回も含めて承りました。自分自身疑問に思うところが多々ありつつ、複合化という話ですが、最後におっしゃってくださったように、当事者である中学生、あるいはこれから中学生になる小学生の意見は、せっかく部長も様々な方のご意見を伺いたいとおっしゃってくださっていますので、是非やったほうがいいのではないかなと思います。</p> <p>子どもたちだけではなく、この地区で宮前図書館を利用してこられた皆様方の希望とか、そういうワークショップは複合化事例の説明では飛ばされましたが、実は和光市の下新倉小学校と下新倉分館ではされています。100%実現はかなわないにしても、現場の意見として公的に取り</p>

	<p>上げていただける機会を設けるべきではないかというのが、今日の私の結論です。子どもたち自身にとって、まさに自らの課題になると思いますので、そのチャンスを頂きたいと思いました。</p> <p>それから、活発な中学生と静かな図書館という議論がありましたが、静かな図書館というイメージは、ぜひ変えていただきたい。武蔵野プレイスに行かれると分かると思いますが、入り口から奥に向かって、あるいは1階から3階に向かって音のグラデーション、にぎやかなところから静かになるという空間設計がされています。</p> <p>図書館は単に読む場所だけではなく、地域住民がいろいろな生活課題や、住民それぞれの課題を持ち寄り、皆で分け合って解決していくというコミュニティになるべきです。それは学校も、今後は地域コミュニティとしてやっていくという同じ方向性を持っているので、やり方によっては部長がおっしゃるように相乗効果も考えられなくはないと思います。</p> <p>ただ複合化の事例パターンとしては、建物的に分類していただきましたが、図書館規模や学校規模で見ると、どちらかが主でどちらかが従です。両方自立してやっているところは大概分離独立型になっていると私は見えています。そういうことも含めて考えていただけるといいのかなと思いました。</p> <p>あと、東京都内で本当に人口減少するののかという話もあると思います。地方に行くと、1年間に何十人、何百人も減る過疎の地域をこの夏休みに見てきましたが、そういうところとは事情が違いますので何とも言えませんが、どこかである種のスリム化をしていかなければいけないこともまた、行政にとっての課題なのだと考えていかなければいけないのではないかと考えています。</p> <p>では、どこが未来のある子どもたちの学びにとって有効で、どこをスリム化して、後から何か問題が出てきたときに対応が可能かどうかを含めて、あと今回跡地活用の話が出たのは結構重要なこととっているので、そこも含めて今後検討したいと思いました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>司会が上手ではなく、時間も過ぎてしまって申し訳ありません。本来でしたら、西宮中の母体校の小学校の校長先生や地域の方、PTA会長もいらしていただきましたのでご意見を賜りたいのですが、時間が遅くなってしまいましたので、一旦ここで切らせていただきます。</p>

	<p>それでは、事務局から事務連絡についてお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>本日もたくさんのご意見を頂き、本当にありがとうございました。今日の会議録も前回と同様まとめ次第お送りしますので、内容のご確認をお願いいたします。</p> <p>次回第3回懇談会の日程ですが、11月4日金曜日の午後を予定しています。先ほども少し触れましたが、次回は施設見学を予定しており、高井戸中ともう1校は先方と調整中でございます。</p> <p>集合時間等詳しくは開催通知をお送りしますが、2か所を回るとすれば1時ぐらいに西宮中に集合していただいて5時ぐらいに戻る、丸半日になります。日程の都合等でどちらか一方だけでも見たいということがあれば柔軟に対応したいと思いますので、事務局までご相談いただければと思います。</p> <p>それから、第4回の懇談会の日程は少し先になりますが早目に決めさせていただきます。12月7日水曜日の午後2時からを予定しています。こちらも正式な開催通知等は別途改めてお送りしますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
進行役	<p>最後に、中村部長よりご挨拶があります。</p>
学校整備担当 部長	<p>長時間にわたりありがとうございました。様々なご意見を頂けたと思っています。</p> <p>キーワードは複合化をどうするのかということで、先ほど担当課長が区全体を考えたときという説明もしましたが、私ども教育委員会としては、今年はいみじくも新しい教育ビジョン「みんなのしあわせを創る杉並の教育」ということで、学校を学びのプラットフォームにする。</p> <p>先ほど学識経験者の方から、地域に開かれた学校というお話がありました。もちろん様々な方が学校に来ますので、セキュリティなどは蓄えた上で学校を知っていただく、学校を理解していただく、学校に協力していただく地域にしたいということも、今回の複合化の1つの相乗効果、メリットなのかなと思います。これからは、ただ単にキャパシティ的にどうなのかということだけではなく、皆さんの前に複合化の相乗効果を含めてお示ししたいと思っています。</p> <p>逆に皆さんからも、図書館と学校を一緒にすることによってこういったメリットもあるのではないかなということも含めて、課題でもいいですし、そういったことをぜひメールなどでご提案いただきたいことと、ぜひ中学生の意見を聞いてみたいと思っています。</p>



	<p>本日は誠に長時間ありがとうございました。 以上です。</p>
進行役	<p>先ほどは中学生だけではなく、小学生にも意見を聞いてほしいとのことでしたので、それもお考えください。 それでは、本日はこれで閉会といたします。どうもありがとうございました。</p>